

## リンゴの多様性から探る地域活性化 12/13

公開講座～いい暮らしって何だろう？ 50種類のリンゴと庭の果樹から考える中山間地の未来～



「全然違うね！」50種類のリンゴを見比べる参加者

静岡大学農学部園芸イノベーション学研究室が主催した公開講座が、久野脇コミュニティ防災センターで開催されました。

この日の会場には、青森県から取り寄せたリンゴ約50種類が並び、参加者らはリンゴの種類と味を当てるクイズに挑戦したり、自宅の果樹にまつわる思い出話を持ち寄りたりして楽しみました。

リンゴや果樹の可能性を呼び掛けた同大学の松本和浩教授は「リンゴの多様な活用法をヒントに、果樹のさまざまな可能性を見つめ直すことが、地域活性化につながる」と力を込めて話しました。

## 12/8 安心して暮らせる町を目指して

犯罪被害者を支えるために川根本町犯罪被害者等支援条例を制定



島田警察署と静岡犯罪被害者支援センターと三者協定を締結。

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者などの支援に関する基本理念や町や町民などの責務を定め、犯罪被害者が平穏な生活を回復できるように支援することを目的に、10月1日に川根本町犯罪被害者等支援条例を施行しました。

そのことに伴い、犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定を島田警察署および静岡犯罪被害者支援センターと締結。町は両者と連携を図り、効果的な支援を目指していきます。藺田町長は「犯罪は誰しも被害者になりうる。本協定が被害者救済のためになることを大いに期待したい」と話しました。

## いく 幾つになってもサッカー小僧！ 12/11

「ブラボー！」の音が響いた町民サッカー大会が開催



白熱した球際の競り合いを見せた参加者

町スポーツ協会が主催する毎年の恒例イベント「町民サッカー大会」が、中川根第一小学校のグラウンドを会場に行われ、全5チーム、出場者約50名が熱戦を繰り広げました。

各チームは、地元の高校生から大人まで年齢を問わず選手を募り出場。好プレーには互いに「ブラボー！」と声をかけ合っていました。

また、今年はゾーホージャパン株式会社川根本町オフィスチームも参戦し、1回戦で下長尾・下泉チームと対戦しました。勝敗はPK戦にまでもつれ、惜しくも敗退しましたが、住民との交流を楽しんだインド人社員らの顔には笑顔があふれていました。

## 12/14 子どもの健やかな成長を願って

本川根B&G海洋センターの「幼児運動プログラム(アクアリズム・フロアリズム)」が終了



他園のお友だちがたくさんできました！

町内の保育園児を対象とし、年少から約2年間行われた「幼児運動プログラム」が昨年12月に終了しました。

同プログラムは、体育館やプールでの活動を通して体を動かすことや水に親しむこと、他園との交流を目的に開催されています。

この日で最後となったフロアリズムでは、園児らは体育館でボールを使ったりオセロをしたりして楽しそうに活動していました。

指導した同センター職員は「2年間で他園の友達と仲良くなり、成長した園児の姿に頼もしさを感じる。4月からの小学校生活を元気に過ごしてほしい」と話しました。

## 華やかな衣装で華麗にダンス♪ 12/25

HAPPY ☆ STYLE 主催「ダンス発表会」が開催されました



息の合ったダンスに会場は拍手喝采

キッズダンスグループHAPPY ☆ STYLEのダンス発表会が町文化会館で開催され、小学生から高校生までの18人が華麗なダンスを披露しました。

子どもたちは、日本や韓国、米国などの有名な楽曲に合わせて衣装を次々に替え、色鮮やかな照明の中で、息の合ったダンスを踊りました。途中、クリスマスソングが流れると、子どもたちから来場者にお菓子がプレゼントされ、会場は拍手と笑顔であふれました。

公演を終えて代表の大石恵美さんは「ステージは出演者と来場者が一緒に創り上げるもの。日頃から支えてくださる皆様に感謝したい」と話しました。

## 1/8 決意新たに出初式を挙行

機敏な操法披露と一斉放水を実施



全分団による一斉放水。見学した住民らも歓声を上げた

令和5年川根本町消防団出初式が、中川根中学校体育館およびグラウンドで開催されました。

式典で藺田町長は「町民の安心・安全な暮らしを守るため、一層の災害に備えてほしい」と期待を寄せ、井口晶彦団長は「今後も消防強化に努め、安全に配慮した団活動をお願いしたい」と団員らに呼び掛けました。

【日本消防協会会長表彰】▶精積章＝福門雅之(副団長)  
▶勤続章＝井口晶彦(団長)【静岡県消防協会会長表彰】  
▶特別功績章・勤続功労章(30年)＝井口晶彦▶功績章・勤続功労章(25年)＝長嶋真義、芹澤健司、前川裕司